

重点教育目標【自分で考え、正しく判断し、行動できる子】～平成31年4月1日制定～



# 山崎小だより

八雲町立山崎小学校

令和元年5月28日発行

## 地球と人にやさしい読書時間～6月は「環境月間」

5月26日は全国的に気温が上がり、佐呂間町で39.5度という北海道では観測史上最高の気温となりました。本校も熱中症に気をつけながら運動会の練習に励んでいます。

さて、先ごろ、文部科学省と厚生労働省が「第8回21世紀出生児縦断調査結果」を公表しました。(全国の平成22年5月10日～24日の間に出生した子供を対象に実施。24441人から回答。回収率85.7%)これによると、普段子供(小学2年生)が学校以外で1日に勉強している時間(宿題や学習塾を含む)は「30分から1時間未満」が最も多く46.2%、次いで「1～2時間未満」が25.8%、「30分未満」が24.1%でした。母親の家庭学習への関わりが「よくある」方が、学校以外の勉強時間が長いことが分かりました。読書習慣を見ると、1か月に子供の読む本(児童書、絵本など)の冊数は「2～3冊」が26.6%、次いで「4～7冊」が24.5%、「8～11冊」は8.5%でした。母・父親の読書冊数が多くなれば、子供の冊数も多くなる傾向にあることも分かりました。本校は、週に1回、朝読書に取り組んでいます。子供たちは、図書室に新刊が入ると進んで借りたり、八雲町移動図書館が来ると喜んで本を選んだりしているので、本に親しんでいると感じています。

最近「SDGs(持続可能な開発目標:SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)」という文字をよく目にします。2015年9月に貧困や不平等、気候変動等、17の目標が国連本部で採択され、2030年までに目標達成をめざしています。一方、北海道は2008年8月に「持続可能な社会の実現に向けた北海道・北東北共同行動宣言」を出して、北東北三県(青森県、岩手県、秋田県)と共通行動で地球温暖化対策に取り組んでいます。環境月間の6月は、テレビなどを消して読書に取り組むことで電気使用量の低減を図り二酸化炭素の排出量削減を呼びかけています。皆さんも、地球と人にやさしい読書時間をはじめませんか?!

### ジャンボカボチャ!!

八雲ハロウィンプロジェクト実行委員様からジャンボカボチャの苗を3株いただきました。ありがとうございます。



### 合同避難訓練実施!!

今月は、保育園と合同で、八雲消防署の方に見守られながら「地震による津波」を想定して避難訓練を実施しました。今回は、駐車場集合までの避難時間は、昨年より10秒も早い40秒でした。その後、保育園児のお世話をしっかりとしていました。

### 畑の活動 スタート!!



本校の特色ある教育活動の一つ「畑の活動」がスタートしました。自然体験活動と保小異校種間交流という大きな意義のある活動です。

子供たちは畑を耕し、保育園の園児に種芋を4分割して等間隔に植えたり、肥料をまいたりすることを丁寧に教えていました。

### 環境整備、ありがとうございます!!

PTAと山崎青少年健全育成会の皆様からいただいたマリーゴールド300株を前庭に植えました。地域の皆様の御助力のおかげで子供たちが素晴らしい環境の中で学習できますことに感謝申し上げます。

